

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月20日
【四半期会計期間】	第23期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
【英訳名】	Network Value Components Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 渡部 進
【本店の所在の場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1
【電話番号】	046(828)1800（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部ディレクター 寺田 賢太郎
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1 ニッセイ横須賀センタービル
【電話番号】	046(828)1804
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部ディレクター 寺田 賢太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年8月14日に提出いたしました第23期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出いたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、監査法人五大により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行ないましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結包括利益計算書

独立監査人の四半期レビュー報告書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	1,421,845	1,300,297	2,470,160
経常利益(千円)	89,316	103,484	108,047
四半期(当期)純利益(千円)	11,212	70,197	18,504
四半期包括利益又は包括利益(千円)	15,579	74,214	30,294
純資産額(千円)	125,084	213,714	139,799
総資産額(千円)	1,632,044	1,488,809	1,288,698
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	1,188.11	7,438.55	1,960.88
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	6.6	13.2	9.8
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	466,358	285,406	422,058
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	90,977	63,802	226,536
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	150,288	23,670	244,253
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	360,623	285,105	87,011

回次	第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	1,174.07	2,848.69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第22期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

(訂正後)

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	1,421,845	1,300,297	2,470,160
経常利益(千円)	89,316	103,484	108,047
四半期(当期)純利益(千円)	11,212	70,197	18,504
四半期包括利益又は包括利益(千円)	15,579	102,697	30,294
純資産額(千円)	125,084	242,196	139,799
総資産額(千円)	1,632,044	1,533,057	1,288,698
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	1,188.11	7,438.55	1,960.88
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	6.6	14.7	9.8
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	466,358	285,406	422,058
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	90,977	63,802	226,536
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	150,288	23,670	244,253
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	360,623	285,105	87,011

回次	第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	1,174.07	2,848.69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第22期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ200,111千円増加し、1,488,809千円となりました。これは主に、現金及び預金が198,093千円、売上債権が63,556千円、前渡金が33,405千円増加した一方で、商品及び製品が26,588千円、投資有価証券が28,898千円、のれんが55,749千円減少したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ126,196千円増加し、1,275,095千円となりました。これは主に、買掛金が34,981千円、未払法人税等が23,496千円、前受金が69,382千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が31,510千円減少したことによるものです。

なお、純資産は前連結会計年度末に比べ73,914千円増加し、213,714千円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の9.8%から3.4ポイント改善し13.2%となりました。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ244,358千円増加し、1,533,057千円となりました。これは主に、現金及び預金が198,093千円、売上債権が63,556千円、前渡金が33,405千円増加した一方で、商品及び製品が26,588千円、のれんが55,749千円減少したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ141,961千円増加し、1,290,861千円となりました。これは主に、買掛金が34,981千円、未払法人税等が23,496千円、前受金が69,382千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が31,510千円減少したことによるものです。

なお、純資産は前連結会計年度末に比べ102,397千円増加し、242,196千円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の9.8%から4.9ポイント改善し14.7%となりました。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人五大による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人五大による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人五大による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,011	285,105
受取手形及び売掛金	334,166	397,722
商品及び製品	113,587	86,998
仕掛品	135	2,100
原材料及び貯蔵品	32	28
前渡金	68,839	102,244
繰延税金資産	-	1,574
その他	24,258	46,016
貸倒引当金	2,057	2,068
流動資産合計	625,974	919,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,306	28,527
車両運搬具(純額)	701	1,910
工具、器具及び備品(純額)	98,382	88,624
その他(純額)	2,300	1,979
有形固定資産合計	131,691	121,042
無形固定資産		
のれん	333,863	278,114
その他	26,134	20,784
無形固定資産合計	359,997	298,898
投資その他の資産		
投資有価証券	127,967	99,068
その他	51,467	58,498
貸倒引当金	8,400	8,420
投資その他の資産合計	171,034	149,146
固定資産合計	662,724	569,087
資産合計	1,288,698	1,488,809

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,809	93,791
短期借入金	266,000	272,000
1年内返済予定の長期借入金	150,258	118,748
前受金	321,936	391,319
未払金	2,952,54	96,486
未払法人税等	2,806	26,302
賞与引当金	-	6,790
その他	32,963	46,603
流動負債合計	928,028	1,052,041
固定負債		
長期借入金	209,832	212,318
資産除去債務	6,895	6,956
繰延税金負債	2,402	<u>2,375</u>
その他	1,741	1,404
固定負債合計	220,871	<u>223,053</u>
負債合計	1,148,899	<u>1,275,095</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,981	369,981
資本剰余金	386,231	386,231
利益剰余金	622,700	552,502
自己株式	7,433	7,433
株主資本合計	126,079	196,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	<u>17</u>
その他の包括利益累計額合計	46	<u>17</u>
少数株主持分	13,766	17,454
純資産合計	139,799	<u>213,714</u>
負債純資産合計	1,288,698	<u>1,488,809</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,011	285,105
受取手形及び売掛金	334,166	397,722
商品及び製品	113,587	86,998
仕掛品	135	2,100
原材料及び貯蔵品	32	28
前渡金	68,839	102,244
繰延税金資産	-	1,574
その他	24,258	46,016
貸倒引当金	2,057	2,068
流動資産合計	625,974	919,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,306	28,527
車両運搬具(純額)	701	1,910
工具、器具及び備品(純額)	98,382	88,624
その他(純額)	2,300	1,979
有形固定資産合計	131,691	121,042
無形固定資産		
のれん	333,863	278,114
その他	26,134	20,784
無形固定資産合計	359,997	298,898
投資その他の資産		
投資有価証券	127,967	143,316
その他	51,467	58,498
貸倒引当金	8,400	8,420
投資その他の資産合計	171,034	193,394
固定資産合計	662,724	613,334
資産合計	1,288,698	1,533,057

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,809	93,791
短期借入金	266,000	272,000
1年内返済予定の長期借入金	150,258	118,748
前受金	321,936	391,319
未払金	2,952,54	96,486
未払法人税等	2,806	26,302
賞与引当金	-	6,790
その他	32,963	46,603
流動負債合計	928,028	1,052,041
固定負債		
長期借入金	209,832	212,318
資産除去債務	6,895	6,956
繰延税金負債	2,402	<u>18,140</u>
その他	1,741	1,404
固定負債合計	220,871	<u>238,819</u>
負債合計	1,148,899	<u>1,290,861</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,981	369,981
資本剰余金	386,231	386,231
利益剰余金	622,700	552,502
自己株式	7,433	7,433
株主資本合計	126,079	196,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	<u>28,464</u>
その他の包括利益累計額合計	46	<u>28,464</u>
少数株主持分	13,766	17,454
純資産合計	139,799	<u>242,196</u>
負債純資産合計	1,288,698	<u>1,533,057</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結包括利益計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,528	74,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	<u>28</u>
その他の包括利益合計	50	<u>28</u>
四半期包括利益	15,579	<u>74,214</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,262	<u>70,226</u>
少数株主に係る四半期包括利益	4,316	3,988

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,528	74,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	<u>28,511</u>
その他の包括利益合計	50	<u>28,511</u>
四半期包括利益	15,579	<u>102,697</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,262	<u>98,708</u>
少数株主に係る四半期包括利益	4,316	3,988

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月18日

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

取締役会 御中

監査法人 五大

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高木 勇三 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 手塚 眞佐子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ネットワークバリューコンポネンツの平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ネットワークバリューコンポネンツ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。